

横浜・関内セミナー・現地調査及びワークショップの検討課題について

1. 横浜・関内セミナー事務局が提案するワークショップ検討課題

- 松村ビル（横浜市中区住吉町 1-13）
 - ・ 1974 年築、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 10 階、地下 1 階
 - ・ 現在は市の部署が入居しているが、新市庁舎に移転後は空き室となる予定。
 - ・ 市の部署の他、貸し会議室、店舗、事務所が入居中。
- 松村ビル別館（横浜市中区住吉町 1-13）
 - ・ 1967 年築、鉄筋コンクリート造、地上 6 階、地下 1 階
 - ・ 現在は市の部署が入居しているが、新市庁舎に移転後は空き室となる予定。
 - ・ 市の部署の他、郵便局、事務所が入居中。



2. まち歩きルート（予定）

さくらワークス出発⇒松村ビル・松村ビル別館⇒横浜スタジアム・現市庁舎⇒横浜文化体育館⇒横浜大通り公園⇒伊勢佐木モール⇒吉田町⇒馬車道商店街⇒旧富士銀行周辺にて解散・昼食
 ※まち歩きは 2 班のグループに分かれて行います。

① 関内地区周辺再整備計画

	
◆現横浜市庁舎◆ 2020 年市庁舎機能移転後の利活用について、公民連携を基本として検討中。	◆横浜文化体育館◆ PFI 事業により、メイン・サブアリーナ施設の 2 敷地を一体とした再整備を予定。また、民間活力の最大化を図るため民間収益施設も併設予定。

② 関内地区周辺のまち並み

	
◆伊勢佐木モール◆ 伊勢佐木町通に沿って北東-南西方向に約 1.4km 続く 24 時間歩行者天国の商店街。	◆馬車道商店街◆ 馬車道の誕生は横浜開港まで遡り、外国人の馬車が行き交い、日本初のガス灯の整備や写真館、氷水店等が出店した。
	
◆吉田町防火帯建築◆ 1950 年代の戦後復興期に、都市の防災を目的として長大な壁面をもつ不燃建物「防火帯建築」による街区を活用した都市空間。	◆旧富士銀行横浜支店◆ 昭和 4 年に安田銀行横浜支店として建設。2003 年度横浜市認定歴史的建造物に認定。現在は東京藝術大学大学院映像研究科馬車道校舎として利用されている。